



インフルエンザの流行で心配された、6年生を送る会は、無事に行うことができました。ほっとしています。足柄小学校を引っ張ってくれた6年生への感謝の気持ちを伝える、とても素敵な会でした。卒業式を無事に迎えることができるよう、今後も感染症の流行に留意していきたいと思います。

～出席停止について～

学校は集団生活の場なので、感染症には特に配慮が必要になります。児童が出席停止扱いとなる病気と診断されたり、その疑いがあるときには、必ず、学校に連絡してください。

出席停止扱いとなる主な感染症
インフルエンザ・百日咳・麻疹・流行性耳下腺炎・風しん・
水痘・咽頭結膜熱・結核・髄膜炎菌性髄膜炎

出席停止扱いとなる感染症から、回復して登校する際には、医師の証明が必要になります。健康手帳の最後のページに記入してもらい、それをもって登校することができます。

医師の証明に、文書料がかかる場合、保護者負担となりますので、ご了承ください。

お手数おかけしますが、感染症の流行を防ぐため、ご理解をお願いいたします。

健康手帳の
最後のページ

～6年生の成長～

6年間で、身長が平均34cm伸びていました。もちろん、体だけでなく、心も大きく成長したことでしょう。

色々な経験をして大きく羽ばたく、これからの6年生の成長が楽しみですね。



1年生のとき
平均116cm



6年生のとき
平均150cm

ご卒業、おめでとうございます。



1年間、頑張ったね♪

1年が過ぎるのは、とても早いですね。ご家庭でも、子どもたちと一緒に、この1年間をふりかえり、頑張ったことを、たくさん認めて、たくさん褒めていただけたらと思います。

～褒めるときに心がけたいこと～

①結果だけではなく、努力したことをしっかり褒める

テストの点数や通知表の評価だけを褒めるのではなく、そのためにどれだけ頑張ったのかを評価できると良いですね。自分の努力を認めてもらえると、子どもたちは、とても嬉しく感じ、次へのやる気も出ると思います。

②人と比べないで、その子自身をみて、褒める

子どもたちには、自分のことをみてほしい、自分を認めてほしいという思いがあります。誰かと比べず、その子自身の成長を褒められると良いですね。

③一緒に喜ぶ

お母さんやお父さん、おじいちゃん、おばあちゃん。自分の大切な人が、自分のがんばりを、自分のことのように喜んでくれたら、やはり嬉しいです。



～“I(アイ)”メッセージで気持ちを伝える～

ある日の朝、
お母さん「いいから、学校行きなさい。」
Aくん「やだ！行かない。」

【YOUメッセージ】

「行かないとだめでしょ。病気じゃないんだから、行って！」

【Iメッセージ】

帰ってきたAくんに、「お帰りなさい。今日も、Aくん、学校行ったね。お母さん、とってもうれしかったよ。いつもAくんがニコニコしながら学校へ出かけていくと、お母さん、一日中、安心していただけるの。」

【YOUメッセージとは・・・】

「あなたは、○○だね。」という言い方で、主語が「あなた」プラスの言葉であれば、たしかに悪くないのですが、どこことなく、相手を「評価」するニュアンスがにじんでいます。

【Iメッセージとは・・・】

「わたしは、○○だよ。」という言い方で、主語が「わたし」「私はこう感じたよ」という気持ちが伝わってくるので、意外と子どもは素直に受け取れるようです。「そうか、自分がしたこと、喜んでくれたんだ！」という自分の存在価値に対する気づきや喜びも生まれます。

参考文献：つげ書房新社 石川尚子著「言葉ひとつで子どもが変わる やる気を引き出す言葉 引き出さない言葉」

私は、保育園のお迎えが遅くなったとき、「ごめんね。遅くなっちゃって。」とつい言いっぱいしてしまいます。でも、そのような言い方だと、子どもは、「自分が迷惑をかけている、負担をかけている」と感じるのかもしれないね。「ただいま。待っててくれて、ありがとう。」など、前向きな声をかけられるようにしたいと思いますが、実行するのは、なかなか難しいですね。

